

付加機能つき住宅用火災警報器でより安心!

連動型住宅用火災警報器

火元で作動した住宅用火災警報器と連動して別の部屋の住宅用火災警報器も鳴動させます。



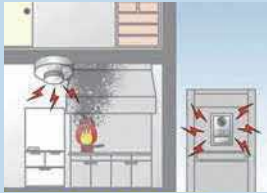
火災・ガス・CO警報器

都市ガスや一酸化炭素(CO)も感知して、あらゆる側面から火災等の発生を知らせる複合型の警報器です。



屋外警報装置

インターホンなどを通じて屋外にも火災の発生を知らせます。近隣住民などの協力が期待できます。



補助警報装置

火災の発生を警報音だけでなく、光や振動等で知らせます。高齢者や耳の不自由な方などに推奨されます。



あって良かった! 住宅用火災警報器

寝室で就寝中、住警器の鳴動音で目を覚ますと、自分が被っていた布団がストーブと接触し、黒く焦げ煙が出ていたため、水をかけて初期消火を実施した。

自宅台所のコンロで鍋を火にかけたことを忘れ外出した。鍋から煙が発生したことで住警器が鳴動したことに隣人が気づき、窓から煙が見えたため119番通報を実施した。

住宅用火災警報器ここに注意!
悪質な訪問販売等に十分注意しましょう!

チェック!



「鳴りますか? 住宅用火災警報器」ホームページ

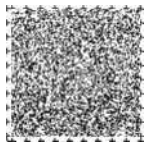
情報満載



東京消防庁 公式アプリ



ご相談・お問合せは、お気軽に最寄りの消防署へ

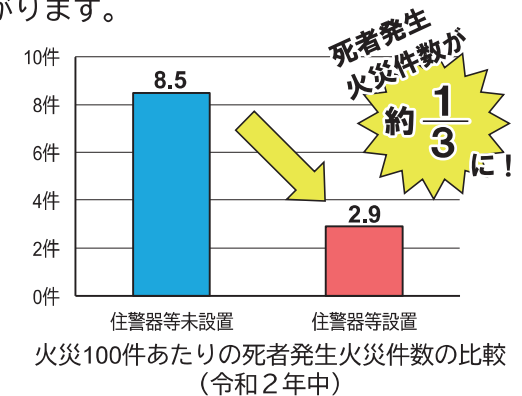
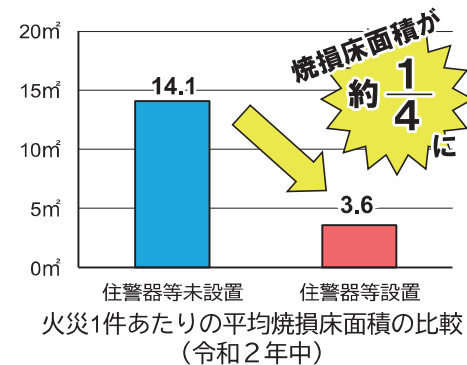


東京消防庁 ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

鳴りますか? 住宅用火災警報器

東京消防庁

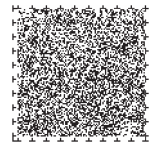
住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して警報音が鳴ることで、火災の発生をいち早く知らせてくれる機器です。火災の早期発見により、速やかな避難・通報・消火ができ、被害の軽減につながります。



本リーフレットは、目の不自由な方へ情報提供できるように視覚障害者用音声コードと位置認識のための切込みを入れています。専用読み取り機によりコードの読み取りをすると、音声に変換され、文書内容が読み上げられます。

※専用読み取り機の給付等については、区市町村の障害福祉担当課へお問合せください。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



設置から10年を目安に交換しましょう！

住宅用火災警報器の耐用年数は、約10年とされています。

定期的な点検で作動確認を実施していても、電子部品の劣化や電池切れなどにより火災を感知しなくなるおそれがありますので、設置から10年を目安に本体を交換しましょう。



設置年月が分からない時は、内部に記載されている製造年月からおおよその設置時期を推測しましょう。

付加機能つき住宅用火災警報器でより安心！
詳しくは裏面をご覧ください。

交換時の
ポイント

設置から10年の交換目安を把握できるように、設置する時には「設置年月」を油性ペンで記入しましょう！



「お手入れ」しましょう！

住宅用火災警報器は、火災の煙の流入による光の反射(煙式)や火災の熱による温度変化(熱式)によって、火災を感知します。

住宅用火災警報器がホコリなどで汚れている場合、火災を感知しにくくなります。汚れは定期的に乾いた布で拭き取りましょう。

汚れがひどい場合は、家庭用中性洗剤を溶かした水に布を浸し、十分に絞ってから拭き取りましょう。



ほこりの溜まった住宅用火災警報器

適正に設置しましょう！

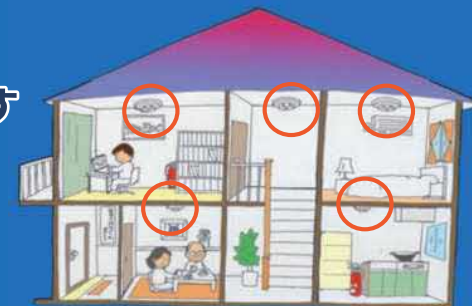
住宅用火災警報器は火災予防条例により、居間やリビング、子ども部屋、寝室など全ての居室と階段、台所の天井又は壁への設置が義務付けられています。

※ 共同住宅等で自動火災報知設備が設置されている建物は住宅用火災警報器の設置義務はありません。

煙や熱を感知すると
火災を知らせる警報音が流れます



火事です火事です
ピーピー



定期的(半年に1回以上)に点検しましょう！

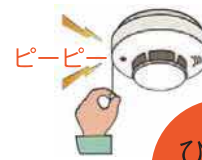
住宅用火災警報器は、簡単に作動確認することができます。正常に作動する場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。

点検方法はこちら



ボタンを
押す

又は



ひもを
引く

※一般的に点検の際の音声等は自動で停止します。

